

飛躍する台湾産業



台北首都圏における産業発展計画

台湾北部には台北市を中心とした首都圏が形成され、近年一層の発展を遂げている。人口集中と過密化が進む中、限られた土地をどのように活かし、新たな発展につなげていくかが首都圏各都市の課題となっている。今回は、2011年に始まった発展計画や各都市の特性を紹介し、台北首都圏の産業発展と一体になった成長の方向性を検討する。

現状は小規模・人口集中の単一中心型

台北市、新北市、基隆市の3都市は台湾北部に一つの生活圏を形成しており台北首都圏と呼ばれている。その面積は2,457km²で、台湾の総面積の7%を占める。一方、人口は約690万人で、台湾の総人口の30%が居住している。日本、韓国、中国などアジア諸国の首都圏と比べ面積が狭く、人口が集中した単一中心型に近い都市構造となっている。首都圏内の移動時間は平均約1時間で、毎日約100万人の市民が往来している。

表1：アジア諸国の首都圏比較

首都圏	面積 (km ²)	人口 (万人)	人口密度 (人/km ²)	構造
日本 東京(一都三県)	13,560	3,600	2,655	多核中心型
韓国 ソウル・仁川・京畿道	12,000	2,300	1,917	単一中心 拡散型
中国 北京・天津・唐山	32,000	3,500	1,094	単一中心型から 多核中心型へ
台湾 台北・新北・基隆	2,457	690	2,808	単一中心型 に近い

出典：NRI作成

台北首都圏各都市の特性と位置付け

台北首都圏の各都市にはそれぞれの特性がある。台北市は、創造的エコ都市として位置付けられており、ハイクラスな生活と経済・貿易・研究の中心である。新北市は、台北で働く市民にとって人気のベッドタウンであり、台北首都圏の新たな中心になりつつある。また、各地域の特色と歴史・文化を生かし、市内を7つのエリアに区分した都市計画を実施している。基隆市はレジャーと港湾の都市である。海洋産業が盛んであり、台湾の海運物流の重要な拠点である。

表2：台北首都圏の各都市の面積及び人口

データ	3都市合計	台北市	新北市	基隆市
面積(km ²)	2,457	272	2,052	133
人口(万人)	690	262	390	38
人口密度(人/km ²)	2,808	9,635	1,899	2,894
都市化人口(万人)	664	262	363	38

出典：NRI作成

2011年、新たな産業発展計画が始動

2008年、行政院経済建設委員会は「産業創新走廊推動方案(産業イノベーションコリドー推進構想)」を打ち出し、

表3：台北首都圏の重点発展産業

	分野	重点エリア
台北市	文化クリエイティブ	台北アートセンター、北部流行音楽センター、松山文化園區
	金融サービス	華台北金融センター
	グルメ	美食博物館、美食スクエア
	会議・見本市(MICE)	南港展覽館周辺、台北松山空港
	観光	ショッピングエリア、ナイトマーケット、有名観光スポット
	バイオテクノロジー	南港国際バイオテクノロジー園區
	国際医療	北投、士林
	都市再開発	淡水河沿岸、公営賃貸住宅
新北市	グリーンエネルギー	樹林、土城、淡海新市鎮後期
	スマートEV	新莊知識産業園區、新店
	クラウドコンピューティング	新北クラウドバレー園區、遠東テレコムパーク
	デジタルコンテンツ	新莊知識産業園區、林口シネマシティ
	文化クリエイティブ	淡水沙崙文創園區、三鶯陶器園區、淡海新市鎮後期
	観光	淡水八里、水金九(水湳洞・金瓜石・九份)、三峡・鶯歌、新店・烏来
バイオテクノロジー	汐止、五股、八里	
国際物流	台北港特定区	
基隆市	観光	海洋科技博物館、農業体験型レジャー区、海浜観光スポット
	都市再開発	鉄道各駅周辺、和平島
	文化クリエイティブ	七堵アジア太平洋現代アートセンター
	グルメ	基隆廟口夜市

出典：各都市の「産業有家、家有産業」資料(2011年)及び関連企業資料よりNRI作成



2011年には各県・市で「産業有家、家有産業（産業にふるさとを、ふるさとは産業を）」計画が始動した。これはバイオテクノロジーなど新興産業6分野、クラウドコンピューティングなどスマート産業4分野、国際医療など重点サービス業10分野を中心とした産業発展計画である。台北市、新北市、基隆市も「スマート革命」「グリーンテクノロジー」「文化クリエイティブ産業」「観光」などの分野を軸とし、新たな産業クラスター形成を目指している。

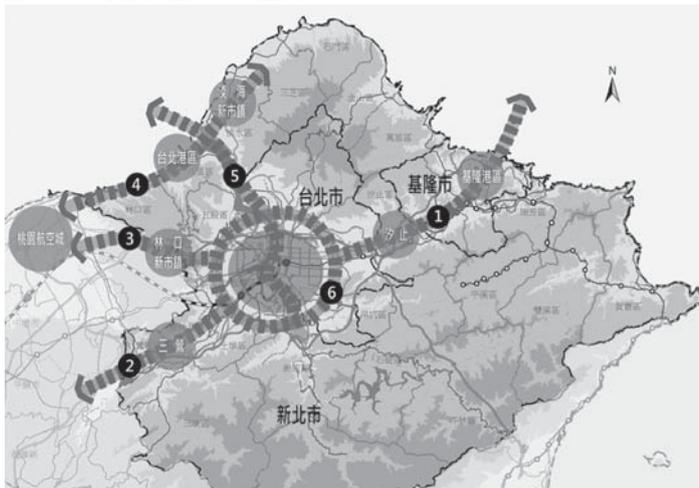
首都圏は台北市西側に拡大へ

新北市政府の「新北市区域計画（2012年）」及び朱立倫同市市長の提示する「首都黄金三核」計画によると、将来MRT路線計画（三環三線）に沿って鉄道網が整備され、台北市内から新北市への人口移動と各地域産業の連動が進むことにより、台北首都圏の中心は、台北市内から新北市へ拡大する見通しである。淡水河を挟んだ台北市都心、新北市溪南都心、溪北都心のそれぞれ異なった役割を担う3つのエリアが台北首都圏の新たな核となり、3都市を跨ぐ6大産業コリドーが完成する計画である。

6大産業コリドーが首都圏成長のカギ

台北首都圏の6大産業コリドーとは、▼MRT環状線が3都心をつなぐ都心MRTコリドー（環主城区）▼東西を結ぶ北基経済貿易コリドー（台北—基隆）▼北桃文化コリドー（新北—桃園）▼国際空港コリドー（新北—桃園空港）▼淡水

図2：台北首都圏の6大産業コリドー



水河沿いの2都市コリドー（淡水—新店）▼桃園空港と台北港をつなぐ2大国際港湾・空港コリドー（桃園航空城—淡海）——である。台北首都圏の地理的優位性と機能的価値を生かし、各地域の独自性を統合することにより、国内外で高い競争力を持つ産業コリドーを形成する計画である。

表4：6大産業コリドーの特色

名称	交通網	重点産業	重要エリア
1.北基経済貿易コリドー	国道1号、3号線 高铁・台鉄 MRT汐止民生線	研究開発 貿易、MICE バイオテクノロジー 国際物流	南港駅周辺 大汐止経済貿易園区 基隆河溪谷 基隆港商業エリア
2.北桃文化コリドー	国道3号線 MRT三鶯線	文化クリエイティブ 戦略的新興産業	天上山都会公園 南樹林柑園 三峡麦仔園
3.国際空港コリドー	国道1号線 MRT空港線	知識産業 クラウド コンピューティング デジタルコンテンツ	大台北都会公園 塩埕圳再開発区 林口シネマシティ
4.2大国際港湾・空港コリドー	西浜公路 淡江大橋 MRT新淡水線	国際物流 観光	台北港特定区 淡海新市鎮後期
5.都市コリドー	藍色公路 環河道路	観光 グリーンエネルギー 河川沿岸住宅	社子島 蘆洲北側農業区 淡水河南十字区 沿岸都市再開発区
6.都心MRTコリドー	MRT路線網	金融 貿易、MICE グルメ	北投士林科技園区 新北クラウドバレー園区 中和二八張工業区 三重頂崁工業区 新莊頭前庄更新区

出典：NRI作成

上記の3都市の地域産業、都市機能、交通が一体となった産業イノベーションコリドーの形成により、今後台北首都圏の更なる経済成長が期待される。

（曹以強：y-tsao@nri.co.jp）

- ① 北基経済貿易コリドー
- ② 北桃文化コリドー
- ③ 国際空港コリドー
- ④ 2大国際港湾・空港コリドー
- ⑤ 都市コリドー
- ⑥ 都心MRTコリドー

出典：新北市政府「新北市区域計画」（2012年）よりNRI作成